

2021年8月4日

公益財団法人 SOMPO環境財団

2021年度環境分野の博士号取得支援「学術研究助成」助成先の決定

公益財団法人SOMPO環境財団（理事長：二宮雅也、以下「SOMPO環境財団」）は、国内の大学院博士課程に所属する研究者を対象とした「学術研究助成」制度の2021年度助成先5件を決定しました。

1. 学術研究助成の概要

弊財団の学術研究助成制度は、環境をテーマとする意欲に満ちた優秀な若手研究者を支援し、「総合学としての環境学」の確立に寄与することを目指して、2001年からスタートしています。国内の大学院博士課程に在籍する35歳以下の研究者の環境分野の研究を対象としており、2020年度までに合計102名の方に助成を行なっています。

（助成実績） https://www.sompo-ef.org/academic/academic_kako.html

2. 助成決定先

別紙「2021年度助成先」参照

3. その他

制度の詳細につきましては、SOMPO環境財団の公式ウェブサイトをご参照ください。 <https://www.sompo-ef.org/academic/academic.html>

以上

(別紙) 2021年度助成先 (助成額: 1名あたり30万円限度)

申請者	所属大学院名	研究テーマ
榊原 敬治	京都大学大学院 総合生存学館 (思修館)	環境問題に取り組む排ガス浄化の量子ファイナンス評価とリスクマネジメントの高度化
キ ハクレイ	京都大学大学院 教育学研究科 教育・人間科学講座 教育方法学研究室	日本における環境教育の理論と実践
高田 陽	明治大学大学院 農学研究科農学専攻 応用植物生態学研究室	養蜂家と協働したニホンミツバチの感染症であるサックブルードウイルス病の感染対策の確立と養蜂の維持のための市民科学の手法の研究
Kim Seula (キム スラ)	上智大学大学院 博士後期課程 地球環境学研究科 地球環境学専攻	Symbiosis between Wetland Conservation and Agriculture – focusing on case studies in Japan and Korea
平田 礼王	京都大学大学院 総合生存学館 ヤルナゾフ研究室	タイ現地法人における環境経営実施上の課題の解明－親会社の視点から－

以上